

令和 3 年 5 月 26 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K00830

研究課題名(和文)現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に関する基礎的研究

研究課題名(英文)A Fundamental Study to Compile a List of Basic Particle Verbs in Swedish

研究代表者

當野 能之(Takayuki, Tohno)

大阪大学・言語文化研究科(言語社会専攻、日本語・日本文化専攻)・講師

研究者番号：50587855

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 700,000円

研究成果の概要(和文):本研究では、スウェーデン語学習において欠かすことのできない不変化詞動詞(英語の句動詞・ドイツ語の分離動詞に相当)の語彙集を作成することを目的とした。まず、利用可能なコーパスデータや語彙リストを活用し、基本的な不変化詞および不変化詞動詞を抽出した。その上で、不変化詞および不変化詞動詞の意味記述・例文とその日本語訳の作成・構文情報の付与などを行い、最終的に「不変化詞動詞概説」、「不変化詞の意味と用法」、「基本不変化詞動詞リスト」の3章から成る「スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト」を編纂し、ネット上に公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本では英語学とドイツ語学の長い伝統において、不変化詞動詞に相当する句動詞(英語)及び、分離動詞(ドイツ語)の膨大な研究がある。一方、同じゲルマン語に属するスウェーデン語については、(不変化詞動詞のみに限らず)未だ研究の質・量ともに両言語の研究には及ばない。日本のゲルマン語研究における空白を埋め、寄与したことに本研究の学術的意義があるものと考えられる。

次に社会的意義であるが、日本におけるスウェーデン語学習環境は徐々に整えられてきているが、英語やドイツ語のような言語に比べて遅れていることは明らかである。本リストの公開は、日本におけるスウェーデン語学習者にとって意義のあるものであると思われる。

研究成果の概要(英文):This study aims to compile a list of particle verbs that are required for learning Swedish. First, we used available corpus data and lexical lists to extract basic particles and particle verbs. After that, we described their meanings, created example sentences and their Japanese translations and added syntactic information. Finally, we compiled "A List of Basic Particle Verbs in Swedish," consisting of three chapters: "Introduction to Particle Verbs," "Meaning and Usage of Particles," and "List of Basic Particle Verbs," and made it available on the Internet.

研究分野：スウェーデン語学、言語学、スウェーデン語教育

キーワード：スウェーデン語 不変化詞動詞 小辞動詞 句動詞 分離動詞 複雑述語 外国語教育

1. 研究開始当初の背景

近年、二つ以上の述語を組み合わせて作られる複雑述語の研究が盛んである。ゲルマン系言語の複雑述語である、英語の句動詞やドイツ語の分離動詞なども長い研究の伝統があり、スウェーデン語においても近年、不変化詞動詞を扱った博士論文が発表されつつある。日本でも英語やドイツ語の当該構文の研究者は多く、スウェーデン語をはじめとする北欧語の当該構文に関する情報が必要とされているが、それぞれの現地語で書かれていることが多く、アクセスが難しい状況にある。

また、英語教育において句動詞の習得の重要性が唱えられているのと同様に、スウェーデン語の学習においても不変化詞動詞の習得は不可避のものである。英語では研究成果を背景とした多くの句動詞の辞典や学習書が出版されているが、スウェーデン語のような、いわゆる「マイナー言語」においては、日本語で書かれたものは言うに及ばず、スウェーデンにおいても不変化詞動詞の辞典は出版されておらず、教材も筆者の知る限り3点に留まっているのが現状である。

本研究は以上のような状況を打破することを目指した。

2. 研究の目的

- (1) 過去のスウェーデン語学(さらには英語学・ドイツ語学)や認知言語学・語彙意味論等の知見をもとに、現在利用可能なコーパス・データを活用し、スウェーデン語学習のための不変化詞動詞(英語の句動詞およびドイツ語の分離動詞に相当する相当する複雑述語)リストの作成とネット上での公開を目的とする。
- (2) 不変化詞動詞の頻度調査に基づく、初級・中級教科書の再検討と新たな指導法および文法記述の開発を目的とする。
- (3) 日本では情報の少ないスウェーデン語の不変化詞動詞について、同じゲルマン系言語である英語やドイツ語などの研究者(特に句動詞や分離動詞を研究対象とした研究者)および日本語や他言語の複雑述語を研究対象とする人々にもアクセス可能な情報を提供することで、近年盛んになっている複雑述語研究に寄与する。

3. 研究の方法

上記の目的を達成するために、以下のA~Bの研究を行った。

- A) スウェーデン語における頻度の高い不変化詞を明らかにする。
不変化詞動詞は「動詞+小辞(particle)」から成るが、まずは学習者にとって必要な不変化詞はどれか、コーパス・データを活用し明らかにする。
- B) スウェーデン語における頻度の高い不変化詞動詞を明らかにする。
不変化詞動詞には「動詞+小辞(particle)」が動詞と小辞の意味から推測できるものと、意味が推測できないイディオムタイプのものがある。後者のイディオムタイプについて、スウェーデンで出版されている学習書から事例を抽出し、その頻度をコーパス・データから明らかにする。
- C) 不変化詞の多義的な意味を学習者に分かりやすく説明する方法を開発する。
Aで明らかにした学習者にとって必要な不変化詞について、その多義的な意味を、認知言語学などの手法を用いて説明する方法を開発する。
- D) スウェーデン語基本不変化詞動詞リストを作成しネット上に公開する。
以上の研究を元に基本不変化詞動詞リストを作成し、ネット上に公開することで、社会への還元を行う。

4. 研究成果

- A) 頻度の高い不変化詞を明らかにするために、大型文法書(1冊)および研究書(3冊)で不変化詞であるとされているものを抽出した。また、抽出した不変化詞について、コーパスにおける頻度を明らかにし、学習者にとって必要な不変化詞50を選び出した。その成果は當野他(2020)にまとめ、報告をした。
- B) 不変化詞動詞のなかで、イディオムタイプのもの頻度を明らかにするため、不変化詞の学習書(3冊)に掲載されているイディオムタイプの不変化詞動詞を洗い出しデータベース化を行った。また、抽出したイディオム的な不変化詞動詞についてコーパスで頻度調査を行った。Språkbankenのコーパスではイディオムについても頻度が調べられるため、ほぼすべてのイディオムタイプの不変化詞動詞に関して、頻度を明らかにし、学習者にとって必要なイディオムタイプの不変化詞動詞200強を選び出した。その成果は當野他(2020)にまとめ、報告をした。
- C) A)で選出した不変化詞に関して、辞書・学習書・研究論文を検討した。不変化詞は多義であるものが多いが、学習者にとって過不足なく、また無理なく学べるように、また、認知言語学における多義研究を踏まえたうえで、意味記述を行った。また、コーパス・辞書・学習書等から代表的で分かりやすい例を選定し、それに和訳を付す作業を行った。その成果は當

野他(2021)にまとめ、報告をした。

- D) B) で選出したイディオムタイプの不変化詞動詞について、意味記述・構文情報の付与等を行い、スウェーデン人ネイティブスピーカーに例文作成を依頼した。さらに、その例文に和訳を付した。会話文形式になった例文も多数含み、口語的な表現にも配慮した。また、構文情報や使用域の情報なども付与し、作文などの際に使いやすいように配慮した。その成果は野他(2021)にまとめ、報告した。

最終的に、研究成果は野他(2021)「スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト - スウェーデン語を学ぶ教材1」としてまとめ、ネット上(大阪大学の機関リポジトリ OUKA)で公開した。また、今回の研究成果を含むスウェーデン語文法の練習問題集を、野(2021)「スウェーデン語トレーニングブック」(白水社)として出版した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 當野能之、梅谷綾、南澤佑樹、芝田思郎	4. 巻 3
2. 論文標題 現代スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト作成に向けて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 外国語教育のフロンティア	6. 最初と最後の頁 291-300
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 當野能之	4. 巻 188
2. 論文標題 合唱団のためのスウェーデン語発音入門	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ハーモニー	6. 最初と最後の頁 82-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yuki Minamisawa	4. 巻 21
2. 論文標題 Metaphor and Collocation: The Case of REIDI.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ord og tunga	6. 最初と最後の頁 53-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.33112/ordogtung.21.4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Yuki Minamisawa	4. 巻 37
2. 論文標題 Begrepsmetaforer om KALDT SINNE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Norsk Lingvistisk Tidsskrift	6. 最初と最後の頁 5-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Minamisawa	4. 巻 38
2. 論文標題 アイスランド語における恐怖を表す概念メタファー・メトニミー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本アイスランド学会会報	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 當野能之	4. 巻 23
2. 論文標題 基体動詞の反義語となるスウェーデン語の不変化詞動詞について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IDUN - 北欧研究 -	6. 最初と最後の頁 17-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/71769	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 當野能之・梅谷綾・南澤佑樹・芝田思郎・Marton Andras Toth	4. 巻 別冊4号
2. 論文標題 スウェーデン語基本不変化詞動詞リスト : スウェーデン語を学ぶ教材1	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IDUN - 北欧研究 -	6. 最初と最後の頁 1-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計1件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 Shibata, Shiro & Takayuki Tohno
2. 発表標題 The 'Double Object' Verb-Particle Constructions in Swedish
3. 学会等名 Grammar in Focus (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 當野 能之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 230
3. 書名 スウェーデン語トレーニングブック	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担 者	南澤 佑樹 (Minamisawa Yuki) (30852769)	大阪大学・言語文化研究科(言語社会専攻、日本語・日本文化専攻)・招へい研究員 (14401)	追加：2019年6月13日 削除：2020年8月27日

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------